

朗和基督教會週報 第百三十三號  
 三月一日 發行主任 白石清  
 每週木曜日發行

○全週の標語  
 神は己の義を  
 顯さんとす。キリ  
 下を立て、その血に  
 よして償いにしよる  
 者の汚物とせし  
 給へり。  
 (ヨハネ三、二五)

○聖日禮拜順序  
 三月四日午後二時 教会堂  
 司会 平原中枝

奏樂 祭(五ノ六)  
 招拜及主禱  
 讚美歌(五四)  
 聖書拜讀(出埃及二二、廿一、廿八)  
 祈禱  
 讚美歌(一一七)  
 証放 神原 牧師  
 「旧約聖書に現れたるキリスト」  
 祈禱 司の三  
 讚美歌(二一九)  
 聖餐式 司式 神原 牧師  
 献金  
 頌告  
 祈禱

○青年部講集會  
 司会 坂上 牧師  
 証放、マヤワード、手摺

○「人類の神の發見」  
 エディ博士  
 「今日の戦争、明日の世界」  
 ○日曜夜の青年部講集會  
 ○青年部新講集會(例)の如く備え

○日曜學校(四日)  
 全七校、午前九時  
 ○學級一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二  
 ○水曜日、午前六時、午後七時  
 ○金曜日、午後七時

○講集會案内  
 ○讚美會、毎木曜夜七時半  
 教会堂にて

○婦人会奉獻會、三月三、五、七、九、十一、十三、十五、十七、十九、廿一、廿三、廿五、廿七、廿九、三十一、午後二時  
 教会事務所、イエサ用百合花  
 作製のため

○婦人靈文會、十六、廿八、午後七時半  
 西会館にて、司会者 土肥夫人

○聖書研究會、十六、廿八、夜七時半  
 九、五、下、講師 泰 牧師  
 教会事務所、神原 牧師不在に付  
 臨時休講

○婦人會例會、九日夜七時半、教会堂

◎祈禱と奇蹟 平原 武 元

基督の公生生涯中、祈禱と奇蹟の教々を四福音書を通じて知らずか出来る。寸暇あるは寂しき所や山に人を避けて祈り給ふた。「イエス祈らんとて山に行き神に祈りつ、夜を明し給ふ。夜明けにきて、弟子たちを呼び寄せ、その中より十二人を擇びて之を使徒と名けたまふ」とあり、人物描寫の極度を盡し得る。或時風の空に鴻れた子供、再びかつて弟子らに諭しを請ふた。弟子らは努力したか不成功に終つた。その時主は「あ、信なき世なるか、或りつまで汝らと偕に在んや、その子を我許につれ來れ」と命じ給ふた。その子の父は「信仰なき我を憐れみ助け給へ」と願ふた。主は「啞にて耳聾なき童よ、此子より出でよ童やて入る」と命じて癒し給ふた。弟子らは驚かに因ふた。我ら如何ふれば逐出し得たりしと。主答へ給ふ「此類は神に由りしかる如何にする共出でざるや。」

又中風の者、四人に擔がれて主の舟を願ふべく来をが、大から群衆で近附き難く、主の在り所の屋根を穿ちて、床のまゝに下した。主は彼らの熱信を見て直ちに癒し給ふた。又生れながらの盲人も是の中程に癒した事もある。其他數段暴風怒濤を静めし事や、水上を歩きし事などもあり。五ツのパンと二ツの魚で五千人に給食した事より、民衆は王とをさんとする運動を興し、山に連れ給ふた。特に墓に葬つてゐつた死人が目を活し給ふた事は當時のユダヤ人の宗教家や指導者級の者々民衆の信頼を失ひ、且つ虚譽權威を辱ら難く、恐畏の控り、あの手此手で反撃を試みた。遂に大會議を開催し、基督を捕へて殺す事を決議し、それは實行したか主は復活の一大奇蹟を顯し給ふた。基督は神也、昨日も

○Y.M.C.A.主催青年大會  
 三月二日(金)四日(日)に講集會  
 講師 Y.M.C.A. 聖堂の世界的名士  
 ニヤウラッド エディ博士  
 マーティン・ルサー 日刊紙記者  
 ヒル 細川氏  
 マヤワード 牧師  
 マヤワード 牧師

○轉任問題講演會(日本語)  
 五日(月)午後七時半 教会堂にて  
 講師 杉田セイマス氏  
 西即海洋地方事情、新教各派聯合機構出席者より報告

○因に同夜へ教会役員會、十日(日)迄期

今日も永遠までもあり給ふことなり。 純神に信賴すべしとある。

○日曜夜傳道記念會中止

四日夜の集會を中止してエディ博士の講演會に參加することになりぬ。

○教會報告書(廿八日)

○讚美會(廿二日夜) 教會にて倍々、來會者十六名。  
○日曜學校教師會(廿三日) 教會事務所に催さる。

○政竹村三郎兄弟傳道會(廿五日) 夜七時半より、教會に於て、羅布基督會、福音員及び花市場園後者連主催、森崎兄弟司會、コトニ當り、大松、依藤、橋本、崎、角、の追應の詞あり、白石牧師の説教、一同茶菓の接待あり、教會來會者約六十名。

○婦人主任事會(廿四日) 午後三時半より、教會事務所にて催され、來會者ありたり。

○日曜諸集會(廿五日) 下、傳道學校(本日)の出席者、約百四十名。

○青年禮拜(朝) 時十五分、サキヤロト師司會、横上牧師は「生命の尊貴」に、説教出席者百八十一名。

○大人禮拜(午後) 二時、佐々木牧師司會、平庵中枝司會、土、四、五、六、本文より「時は未だ」と題して説教出席者百九名、席上ニ、ニコルオヤスより來訪せられ、平野牧師紹介、挨拶せらる。

○婦人會役員會(禮拜直後) 催され、七名出席、事務會ありたり、ホバテスマツ、午後四時より、東會館にてサキヤロト師司會、下に、行はれ、村上夫人、常山石の兩名、壇上、牧師より、度流、入會せらる、サキヤロト、傳道説教會(同夜) 東會館にて、は、福音員、司會、森崎、兄弟、司會、平野、牧師、の紹介にて、平野、牧師、説教せられ、更に、神原、牧師、の紹介にて、

あつた。出席者百三名、同夜、北會場にて、佐々木、牧師、説教せられ、出席者十九名ありたり。

○青年集會(同夜) Y.P.C.F.にて、ハリス、川、バスターの経験談を聞き有蓋であつた。出席者十五名。  
○Y.P.C.F. 伊藤、メイト司會者より、選出、サキヤロト、福音者、生、活、に、つ、き、相、互、に、時、つ、き、出、席、者、十、六、名、。

○牧師會(廿六日) 朝九時半事務所に白石牧師司會、諸報告あり、後各集會に於ける部署を取扱めらる。来り四日午後、聖餐式を営み、谷口、鎮、雄、の、説、教、。同、夜、の、恒、例、傳、道、會、中、止、し、テ、イ、チ、博、士、講、演、に、出、席、す、る、。平、野、牧、師、に、ニ、コ、ル、オ、ヤ、ス、地、方、事、務、課、長、を、と、ら、せ、來、り、廿、八、日、夜、祈、禱、會、後、去、る、二、月、十、日、に、コ、ロ、ン、テ、ム、ニ、ミ、ヨ、シ、の、會、議、の、模、様、を、と、ら、せ、出、席、者、百、名、杉、岡、氏、に、説、明、を、と、ら、せ、(廿五日) 西會館を當、教會に加盟せざる他、教會に使用せざる傳は、決、定、を、保、留、せ、ら、る、。

○婦人靈文會(廿七日) 夜、七時半より、東會館にて、吉田、博、の、司、會、下、に、催、され、た、。

○聖書研究會(廿七日) 夜、七時半より、事務所にて、神原、牧、師、の、ロ、マ、書、講、義、あり、たり、。

○信徒有志集會(廿七日) 夜、茶、牧、師、の、主、持、守、屋、に、て、同、師、の、聖、書、研、究、の、時、間、を、以、て、此、會、を、催、し、た、。

○祈禱會(廿八日) 夜、七時半、教會にて、予、度、通、り、平、原、中、枝、司、會、下、に、三、十、分、同、師、の、對、話、と、祈、禱、と、に、當、り、た、り、。

○轉住地方事情講演會(廿八日) 夜、七時半、事務所にて、催され、三、三、オ、ヤ、ス、より、來、訪、せ、られ、平、野、牧、師、より、同、地、の、状、況、に、つ、き、の、話、あり、たり、。

○同地、同師、現在、多、に、在、る、學、生、の、活、動、中、斯、く、同、地、を、早、急、に、調、査、研、究、す、る、餘、裕、な、く、一、般、旅、行、者、の、視、察、の、如、き、も、な、ら、ず、一、般、同、師、の、

海客、往、來、に、よ、り、近、く、同、師、勉、學、中、の、學、校、の、宿、舎、を、開、放、し、て、お、さ、し、る、の、如、き、の、を、設、け、ら、る、べ、く、す、た、し、八、月、末、の、若、年、の、四、十、年、間、約、十、數、家、族、を、一、時、引、取、ら、し、て、お、出、所、可、能、な、る、と、清、く、も、真、れ、に、お、し、ら、る、。其、際、一、所、宿、所、も、考、慮、せ、ら、れ、と、決、り、ら、る、。尚、同、地、の、W.R.A.支、局、長、は、以、前、四、甲、山、に、居、ら、れ、し、ア、ネ、ー、氏、が、お、り、。

○教會獻金 四州傳道記念 内藤兄弟 柳上 蓮花兄弟 神橋 上 澤田多夫 大塚 會堂川又 眞天記念 廣瀬まさの 感謝獻金 岡村のの 故夫三週年記念 山辺輝三 週年印刷費へ

○婦人會へ 四藤 加州傳道記念 澤田夫人 會堂川又 眞天記念 以上皆、(御) 札中より、各、計、合、計、保、存、す、る、。

○青年部へ 坂上ヨシ子(ヨシ子) 林日輪(ヨシ子) 坂上健次(ヨシ子) 本和(ヨシ子) 週報費へ

○茶牧師へ 先、日、ヒ、エ、ス、ト、ン、の、便、り、を、頂、戴、す、。二、回、中、に、お、得、り、の、事、を、お、し、ら、す、。

○村上女子夫人、常山正史君、廿五日、午後、東會館にて、度、流、入、會、せ、ら、る、。敬、迎、。

○植木昌次郎兄、先、日、出、所、せ、られ、し、同、氏、より、早、着、の、お、便、り、あり、たり、。新、設、立、の、山、田、橋、と、足、(ト、ビ、ト、) 一、河、庄、便、に、て、野、活、動、の、由、皆、様、に、お、し、ら、す、。

○山崎、牧、師、(シ、カ、ゴ) 一、シ、カ、ゴ、近、在、に、出、所、せ、られ、し、聖、公會、員、百、五、十、名、を、訪、問、す、る、他、多、忙、但、し、教會、を、持、た、ぬ、の、故、入、の、様、を、お、し、ら、す、の、お、便、り、。皆、様、宜、く、因、に、御、息、息、牧、師、の、苦、勞、に、履、府、に、お、り、と、に、お、し、ら、す、と、あり、たり、。